

新型コロナウイルス感染 予防対策とお願い

2020年 4月 3日

ご利用者およびご家族の皆様

日頃から、ふたば訪問看護ステーションのサービスをご利用いただきまして、ありがとうございます。

皆様におかれましては、今回の新型コロナウイルス感染症の拡がりをご心配されていることと思います。

そこで皆さまに、当ステーションにおける感染予防対策と皆様へのお願いを何卒ご了承の上、ご協力いただきたくお願い申し上げます。

◇ 当ステーションでは、新型コロナ感染症の状況下にあっても、できる限り通常通りの訪問看護を提供したいと考えております。しかし、その際、ご利用者やご家族の皆様が新型コロナウイルス感染症にかかる可能性や訪問看護を行うスタッフがかかる可能性を想定した対応をします。

- ① スタッフ全員、毎日、検温を行います。37.5℃以上の発熱や喉の痛み、咳、だるさ等が少しでもある場合は、新型コロナ感染症の診断がつかなくても自宅待機とします。
- ② スタッフの家族に発熱等の症状がある場合も同様に、症状が治まるまでの間は自宅待機とします。
- ③ 研修会を含め、多くの人が集まる会への参加はしません。必要時は、感染予防策を行います。
- ④ スタッフ全員、勤務外での、不用不急外出は控えるようにしております。
- ⑤ 感染拡大や学校等の休校により出勤困難なスタッフが増えた場合、状態が安定されている方には、訪問回数を減らす等のご相談をさせていただきます。
- ⑥ スタッフは訪問時、手洗いを徹底しマスク着用します。場合によっては、ガウンを着用する事もあります。
- ⑦ 事業所で3密を防ぎ、出来る限り、直行・直帰に努めております。
- ⑧ ステーション内の清掃の強化、室内換気・車中換気を心がけております。

《ご利用者様・ご家族へのお願い》

- ① ご利用者様・ご家族が37.5℃以上の発熱や症状（咳・だるさ・息ぐるしさ等）がある場合は、ステーションへ事前に連絡いただきますようお願い致します。
- ② 厚生労働省作成の別紙「感染症対策へのご協力をお願いします」等をご参考にさせていただき、ご利用者様、ご家族も手洗いや咳エチケットを行い、マスク着用をしていただくことをお願い致します。

《新型コロナウイルス感染症の疑いがある場合》

1. ご利用者様が新型コロナウイルス感染症を疑われた場合、主治医・保健所へ相談し対応させていただきます。他のご利用者様へのウイルス感染を予防するため、病状によっては訪問看護を休止させていただくことがあります。
2. 当ステーションのスタッフに感染者が出た場合、一時的に訪問をお休みさせていただきます。

管理者 田本 あゆみ